

平成20年度決算収支概況

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(1) 基本財産運用収入

基本財産18億9,200万円を主に期間5年以内の国債、金融債、ユーロ円債、社債等の有価証券にて運用し、基本財産運用収入は2,369万円（予算比69万円上回った）となり、概ね予算どおりであった。

なお、期中に期日到来した金融債1億円・国債2億円は、各々年利2.00%・1.38%と当初予想の1.00%を上回る運用が出来た。

(2) 寄付金収入

一般寄付金収入は、行員その他からの446万円（予算比246万円上回った）と（株）みずほフィナンシャルグループからの1,960万円（予算比同額）との合計2,406万円となり、予算比246万円上回った。

募金収入は予算どおり特別事業助成支出にほぼ見合う1,000万円である。

(3) 事業活動収入合計

上記収入にその他の収入〔特定資産運用収入ならびに雑収入－普通預金（一般口）ならびに（寄付金口）の受取利息収入〕11万円（予算比1万円上回った）を含めた事業活動収入合計は、5,786万円と予算比316万円上回った。

2. 事業活動支出

(1) 事業費支出

初等中等教育助成金支出は2,489万円（予算比11万円下回った／図書等贈呈の誤差）、社会福祉助成金支出は2,500万円（予算比同額）となり、本年度事業は計画どおりに実施された。

特別事業助成金支出は予算どおりの1,100万円（みずほ号10台）となった。

その他助成は該当がなく、予算枠300万円は使用しなかった。

事業関連雑費合計は、194万円（予算比76万円下回った）となった。

事業雑費を含めた事業費支出合計は予算比387万円下回り6,283万円となった。

(2) 管理費支出

管理費は堅実な運営に努めた結果、予算比108万円下回り352万円であった。

したがって、事業活動支出合計は、予算比495万円下回り6,635万円となった。

3. 事業活動収支差額

上記収入・支出の結果、事業活動収支差額は支出超過が予算比811万円縮小し849万円の支出超過となった。

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

基本財産の同額再運用・投資のための取崩収入4億8,830万円（予算比45万円上回った／償還差益分）、特定資産取崩収入4,000万円（予算比同額）となり投資活動収入合計は予算比45万円上回り5億2,830万円となった。

2. 投資活動支出

基本財産の再運用・投資のための取得支出4億8,830万円（予算比45万円上回った／理由は取崩収入と同様）、特定資産取得支出3,500万円（予算比同額）となり投資活動支出合計は予算比15万円上回り、5億2,330万円となった。なお、固定資産取得支出（什器備品購入）30万円は発生せず。

3. 投資活動収支差額

上記収入・支出の結果、投資活動収支差額は予算比30万円上回り500万円の収入超過となった。

III 財務活動収支の部および予備費支出

財務活動収支は該当なく、予備費300万円の使用はなかった。

IV 収支差額合計

上記各部門の収支差額の結果、当期収支差額は支出超過が予算比1,141万円縮小し349万円の支出超過となった。

前期繰越収支差額2,056万円からこの支出超過額を控除した1,707万円を次期繰越収支差額として次年度に繰越計上する。

以 上